

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都市右京区西京極北大入町計画 新築工事	階数	地上7F
建設地	京都府京都市右京区西京極北大入町64	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域, 第1種住居地域, 準防火地域	平均居住人員	120 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2018年3月12日
敷地面積	787 m ²	作成者	株式会社ユマ設計 湯川 君雄
建築面積	409 m ²	確認日	2018年3月15日
延床面積	3,351 m ²	確認者	株式会社ユマ設計 湯川 君雄



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 ★★★★★

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
各居室の開口部は遮音性能が高く、同時に広い開口部によって豊かな採光を実現している。共用部についても、吹抜からの採光により利用者にとって快適に過ごせる環境となっている。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用 広い開口部より豊かな採光や通風を確保	各住戸に100Mbitクラスのブロードバンド利用可能環境が整備されている 耐用年数の長い配管材を使用している	特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明の採用	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用について3品目以上採用している 躯体と仕上げ材の容易な分別など、部材の再利用向上に努めている	ライフサイクルCO ₂ 排出率=90%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: BEE (建築物の環境効率), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される